



Green

日南町森林組合広報誌

2025.7月号
vol.163

グリーン・コミュニティー
Community

第62回通常総代会開催報告
特集記事
活動報告
話題・時評
日南町の林業を支える人 ほか
お知らせ

P2～
P5～
P8～
P10
P11
P12

第62回通常総代会開催報告

6月13日(金)、日南町総合文化センターにおいて、中村英明町長、日野振興センターの郡 香緒利 所長、鳥取県森林組合連合会の生田公良 副会長理事を来賓に迎え、第62回通常総代会を開催しました。

議長には、日野上地区の青葉誠也氏が選任され、総代200名中、出席者80名、委任状提出者17名、書面議決者53名で、全議案及び付帯決議が原案どおり承認可決されました。

当期は、国内外で経済成長が鈍化する中、政治的不安定や社会問題が顕在化し、自然災害の多様化などの情勢が続きました。新設住宅着工数は年間80万戸を下回り、2年連続の減少となりました。その影響で木材取扱量は減少しましたが、国・県・町の補助事業等を活用し、計画的に森林整備（間伐、皆伐、再造林、保育、路網整備等）を進めました。

引き続き、森林資源の適正な管理と木材産業の競争力の強化に取り組んでまいりますので、今後とも、組合員の皆さまの一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《提出議案》

議案番号	内 容
第1号議案	令和6年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、附属明細書の承認について
第2号議案	令和7年度 事業計画設定について
第3号議案	役員報酬額の決定について
第4号議案	一組合員に対する貸付金限度額の決定について
第5号議案	借入金の最高限度額について
第6号議案	余裕金の預け入れ先の決定について
付帯決議	決議事項中、権利・義務に関しない軽微な事項の修正並びに違算・誤字の訂正及び法令その他行政庁の処分、又はこれに基づく指示による場合は必要な字句の修正をなす事を理事会に一任する。

《令和6年度事業報告》

指導部門

- 森林組合活動の普及・啓発を図るための広報誌の発行（4回）
- ホームページ、フェイスブック、Instagramによる情報発信
- J-クレジットの販売
- 労働保険事務組合への加入促進

販売部門

- 立木の買取と皆伐の推進
- 選木機の効率的な稼働による木材集積場の体制の充実
- 近隣の木材市場市況とのバランスを図り、安定的な集荷と販売網の拡充に努めた

森林整備部門

- 森林経営計画をベースに、航空レーザーなどのICT技術を活用した施業の集約化
- 日南町、森林整備センター、米子市などの森林整備施業
- リース支援事業による高性能林業機械の導入
- 薬品メーカーと連携したスギ花粉採取事業
- 各種造林補助事業を活用した新植・保育の施業の推進
- 一般購買品、苗木等の販売
- 皆伐再造林に必要な苗木の安定供給のため、株式会社ウッドカンパニーニチナンと連携した苗木生産事業

令和6年度貸借対照表

(千円)

科 目			金 額
資 産 の 部	流 動 資 産 合 計	①	804,261
	有 形 固 定 資 産 合 計	②	428,169
	無 形 固 定 資 産 合 計	③	2,028
	外 部 出 資 合 計	④	68,050
	そ の 他 の 固 定 資 産 計	⑤	26,047
	固 定 資 産 合 計	⑥=②+③+④+⑤	524,294
資 産 合 計			⑦=①+⑥ 1,328,555
負 債 の 部	流 動 負 債 合 計	⑧	467,613
	固 定 負 債 合 計	⑨	306,973
負 債 合 計			⑩=⑧+⑨ 774,586
純 資 産 の 部	組 合 員 資 本 合 計	⑪	553,969
	純 資 産 合 計	⑫=⑪	553,969
負 債 ・ 純 資 産 合 計			⑬=⑩+⑫ 1,328,555

令和6年度森林整備等の状況

区 分	数 量
森林経営計画の作成状況	18,695 ha
施行集約実施面積	338 ha
搬出材積	77,311 m³
新植	47 ha
保育	233 ha
除間伐	43 ha
搬出間伐	390 ha
森林作業道	24,634 m
林業専用道	1,725 m

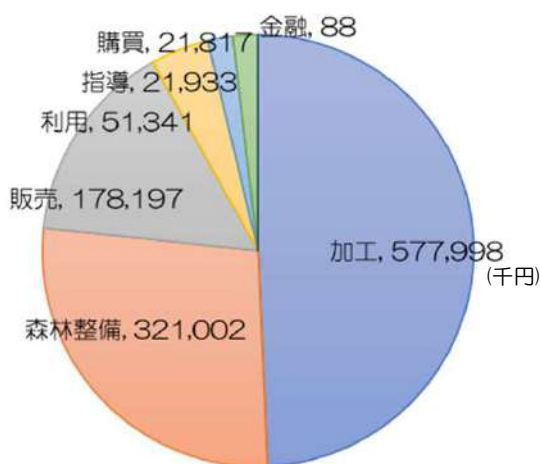
(小数点以下切捨て)

令和6年度損益計算書

(千円)

科 目			金 額
事 業 総 利 益	事 業 総 収 益	①	1,172,376
	事 業 総 費 用	②	960,864
	事 業 総 利 益	③=①-②	211,512
事 業 管 理 費			④ 150,102
事 業 利 益			⑤=③-④ 61,410
事 業 外 損 益	事 業 外 収 益	⑥	2,902
	事 業 外 費 用	⑦	9,279
	事 業 外 損 益	⑧=⑥-⑦	△ 6,377
経 常 利 益			⑨=⑤+⑧ 55,033
特 別 損 益	特 別 利 益	⑩	92,102
	特 別 損 失	⑪	71,536
	特 別 損 益	⑫=⑩-⑪	20,566
税 引 前 当 期 純 利 益			⑬=⑨+⑫ 75,599
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税			⑭ 20,696
当 期 剰 余 金			⑮=⑬-⑭ 54,903
前 期 繰 越 剰 余 金			⑯ 30,626
再 造 林 積 立 金 取 崩 額			⑰ 1,330
当 期 未 処 分 剰 余 金			⑱=⑮+⑯+⑰ 86,859

令和6年度 事業別収益 (11億7,237万円)



令和6年度剰余金処分案

(千円未満切り捨て)

科 目	小 計	合 計
当 期 未 処 分 剰 余 金		86,859
剰 余 金 処 分 額		50,582
法 定 準 備 金	11,000	
再 造 林 積 立 金	10,000	
別 途 積 立 金	25,000	
出 資 配 当	4,582	
次 期 繰 越 剰 余 金		36,277

令和6年度 部門別収益 (千円)

部 門	金 額
加工	577,998
森林整備	321,002
販売	178,197
利用	51,341
指導	21,933
購買	21,817
金融	88
計	1,172,376

《令和7年度事業計画》

総括

- 環境の森づくり・循環の森づくり・森林の人材づくり・森林の価値づくりを通じた組合員サービスの向上
- 組合員の為の森林組合である事を再確認し、役職員一丸となった計画的な組合運営
- 急変動する国内外の経済動向を注視し、行政及び関連企業と連携した地域の森林・林業・木材産業の振興発展

指導部門

- 林業従事者の人材確保を図るとともに、林業アカデミーへの支援及び緑の雇用制度を利用した人材育成
- 再造林に必要な苗木の安定供給を図るため、株式会社ウッドカンパニーニチナンと連携した苗木生産事業の推進
- 木質バイオマス発電事業者等と連携し、再生可能な森林資源を地域内で活用できる体制づくり
- 組合情報誌・ホームページ、SNSなどによる情報発信

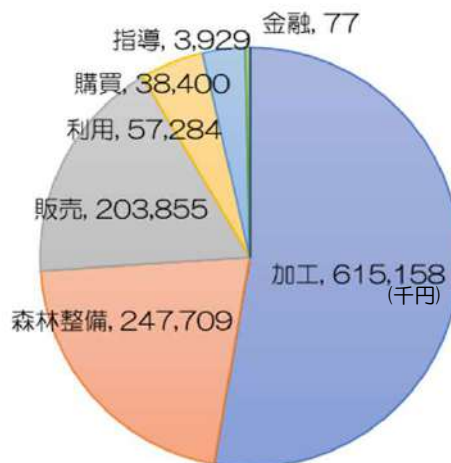
販売部門

- 株式会社オロチ及び関連企業との連携による木材の安定供給・販売網の拡充
- 日南町木材生産事業協同組合との連携による高性能林業機械の導入等、木材生産体制の充実・強化を図り、木材生産量の増加及び安全な施業体制づくりに努める
- 県森連を中心として全県下で取り組む川上から川下までの物流データのデジタル化による情報共有と業務の効率化

森林整備部門

- 森林経営計画をベースとする間伐・皆伐再造林の施業地の集約化と立木買い取り
- 必要に応じた林業専用道・森林作業道の開設による木材生産システムの効率化
- 各種造林補助事業等を活用した新植・保育・除間伐等の森林整備施業の推進
- 日南町や森林整備センター等公共造林の森林整備事業の実施
- 林業機械及び林業資材の斡旋、地域に適した優良苗木の斡旋
- ドローン活用による森林施業の省力化
- 花粉の少ない森林への転換促進対策において需要の高まるカラマツの特定母樹による採種園整備事業の実施

令和7年度 事業計画 事業別収益（11億6,641万円）



令和7年度損益計画

(千円)

科 目		金 額
事業総利益	事業総収益①	1,166,412
	事業総費用②	1,012,272
	事業総利益③=①-②	154,140
事業管理費④		149,695
事業利益⑤=③-④		4,445
事業外損益	事業外収益⑥	3,260
	事業外費用⑦	1,720
	事業外損益⑧=⑥-⑦	1,540
経常利益⑨=⑤+⑧		5,985
税引前当期純利益⑩		5,985
法人税、住民税及び事業税⑪		958
当期剰余金⑫=⑩-⑪		5,027
前期繰越剰余金⑬		36,277
当期未処分剰余金⑭=⑫+⑬		41,304



第62回通常総代会（於：日南町総合文化センター）

生産性の向上と作業の安全性を目指して



超高性能林業機械の導入計画を策定

1. 諸課題の解決を目指して

林齢が、10～12齢級（50～60年生）が突出する町内の人工林にあって、皆伐施業を望まれる組合員のみなさんの声は少なくありません。そうした要望をかなえていくためには、近年の豪雨を伴う異常気象を睨んだ災害リスクの低い皆伐作業のあり方を検討していかなければなりません。一方で、少子高齢化が進む中、新規労働力の確保は容易なことではなく、林内での施業は、少数精鋭による体制の構築も必須です。

こうした中、本年5月から、林産班を1班体制から2班体制とし、施業分散による業務の効率化を図っています。第1班は、ハーベスタによる従来型の間伐施業を担当し、第2班には、自走による伐採・造材・集材作業が可能なハーベスタ（4輪多関節型作業機械）の配備を計画しています。同班は、林内に極力路網を作設しない皆伐施業を主に担当、新たな体制で立ちはだかる諸課題の解決を目指します。

2. 超高性能林業機械の導入計画

国、県及び町に新年度予算要望を行ったハーベスタ（通称：スパイダー/スイス メンツィムック社製）は、斜面登坂能力が傾斜勾配角度45度（ウインチを装着した場合は65度までの斜面に対応）と非常に優れており、かつ複数の作業（伐採・造材・集材）を行えることから、傾斜地においても高密度路網を必要とせず、災害リスクを避けた少数での皆伐施業が可能となります。

2月には、組合長、林産班長らがスパイダーを製造しているスイスを訪ね、独立制御が可能な油圧稼働の脚を支えに、複雑な地形でも安定した姿勢を確保して、安全に作業を進めている実際の作業現場を視察しました。



急峻な作業現場での施業（於：スイス）

また、従前の間伐では、路網密度300m/ha程度で作業路を作設し、伐採搬出していましたが、同機で施業した場合、100m/ha程度で主伐が可能になると見込んでいます。作業路の作設期間と経費を格段に抑制することができただけでなく、当機（伐採、造材、集材）とフォワーダ（運材）の2台での作業体制を構築することで、少数での効率的な作業が可能となり、生産性も大きく向上すると考えています。

3. 土砂災害・河川災害の現場でも

傾斜地を自走する画期的な機能を有している当機は、ほとんどの施行地が傾斜地である国内林業において、今後の林業機械の切り札として期待されています。加えて、キャビン下部まで水に浸かっても作業可能な優れた防水性を同機は備えており、通常の建機では対応が難しい河川内での作業も行うことができます。必要に応じ、土砂災害・河川災害など、緊急を要する現場でも、その機能を十分に発揮してくれるものと期待しています。



写真提供：メンツィムック社

お得な森林管理の方法を
ご提案します

ご相談窓口
TEL 0120-988-928 (フリーダイヤル)
受付時間/9:00~17:00(土日・祝日除く)
山についての相談はこちらにお電話を！

皆伐・再造林 間伐のご相談は森林組合へ



1. はじめに

日南町内の人工林地での施業は、林齢45~65年生を対象にした間伐が中心です。しかし、木材の供給拡大と循環型の持続可能な森林経営の確立には、皆伐・再造林を積極的に推進していくことが求められています。

2016(平成28)年6月から2017(平成29)年3月にかけて、全組合員を対象に実施した「山林意向調査」(総発送数1,485通、回答数1,099通74%)の自由意見欄では、ご自身の高齢化、後継者問題、相続、森林の境界、固定資産税、不在村地主など、山林管理に関し、多様な問題を抱えておられることを拝察できる記述が多く見られました。

山林経営は、収支のバランスが崩れたままですと、不安も高まっていきます。森林組合では、皆伐、再造林、間伐などの施業について、手間のかからないお得な森林管理の方法を提案しています。

2. 再造林への助成

日南町では、森林所有者のみなさんの再造林に対する支援策として、次の補助金制度がありますので、皆伐施業後に費用負担は発生しません。

■ 日南町民有林再造林新植経費補助金

植栽(再造林)経費から造林補助金を差し引いた金額を日南町が支援

■ 日南町森林組合皆伐・再造林推進支援事業

育林(雪起・下刈)経費から造林補助金を差し引いた金額を当組合が支援

※支援には各々対象要件があります。

※5年以内に限ります。



3. 間伐は施業集約できれば収益アップ

施業集約とは、複数の林地を面的にとりまとめ、一体かつ計画的に広範囲の森林整備を行う事です。森林所有者の同意を得て集約化できれば、機械化が促進され、生産性が向上し、低コストでの施業が可能になります。搬出間伐を行った際、条件が揃えば、2つの補助金を受け取ることもできます。



補助金名	補助対象林齢	事業の基準	補助金	条件等
間伐補助金	11～60年生 ※61～80年生	平均10m ³ /ha 以上の搬出	平均20万円/ha (手数料控除後)	・61～65年生は100m²当たり8本以上成立していること ・66年生～は100m²当たり7本以上成立していること
間伐材持出補助金	11～60年生 ※61年生～	スギ・ヒノキに限る	2,070円/m ³ (手数料控除後)	・造林搬出間伐の施業基準により査定 ・切り過ぎによりha当りの基準材積をオーバーした場合、数量が減らされる場合もあり ・61年生以上の場合、間伐作業と見なされない場合あり

4. 補助金の精算時期と手数料

補助金の精算時期の目安は、次のとおりですが、作業の終了時期や県の検査、県・国の予算執行状況により、変更となる場合があります。なお、組合員のみなさんにご負担いただく手数料は、事業費×15%です。

- **間伐補助金**…5月末、1月末
- **持出補助金**…5月末、8月末、11月末、2月末

5. 森林管理に関する「困りごと」は 森林組合へ

「所有している山林がどこにあるのかわからない」、「固定資産税は払っているが、森林経営をどう行ったらよいのかわからない」といった困りごとはありませんか？

森林は放置しているとどんどん荒廃し、放置することで生じる問題もありますが、手をかければ数年で元気になります。

所有する山林について困りごとがあれば、まずは、当組合に（担当地区は右表のとおり）にご相談ください。

わたしたちが、解決策を提案します。

地 区	主 査	副 査
日野上	大 塚	木 下
山 上		
多 里		
阿毘縁	木 下	大 塚
大 宮		
石 見		
福 栄	池 田	

3/14 4/7 林業アカデミー卒業・入学式



3月14日、町立林業アカデミーの第6回卒業証書授与式が行なわれ、組合長が来賓として祝辞を述べました。残念ながら第6期生の町内就職はありませんでしたが、これまでの卒業生59名の内、町内就職者は16名、県内就職者は17名で、当組合にも6名在職し、町の林業振興の一翼を担ってくれています。

また、4月7日には、第7期生8人の入学式が行なわれました。現在、組合では、林産班の拡充を計画しており、時機を捉えた求人情報の発信に努め、人材の確保を図っていきたいと考えています。



令和7年度入学式（写真提供：藤森高善さん）

3/28 林業の魅力発信のために



平成30年度から町と共同で製作していましたが、残念ながら、令和6年度をもって終了することになりました。

そこで、関係者協議のうえ、新たな循環型林業の創造に立ち向かう町の取組みを広くアピールし、林業の魅力を内外に発信していくためのポスターとチラシを製作しました。

関係先には配布させていただきましたが、もう少し在庫があります。ご入用の方は、当組合または日南町役場農林課(82-1114)にお問い合わせください。



4/1 森林組合新入職員研修



令和7年度新規採用職員のオリエンテーションを行いました。

午前中は、「日南町の林業」と「安全作業」に関する座学、育苗センターでの防草シート張り作業、午後からは、木材団地、(株)オロチのLVL工場の見学、最後に、就業規則、諸規定の説明を行いました。

新規採用職員は、12頁で紹介しています。仲村は岡山県新見市の出身、増子は兵庫県加西市の出身で、日南町にも少しずつ慣れてきたようです。森林づくりの新しい仲間をよろしくお願いします。



樹木育苗センターでの防草シート張り

4/11 木質バイオマス発電所視察



前号でもお知らせした三本松農場（神戸上）での木質バイオマス発電所の建設計画に関し、町、住民代表のみなさんらと、福島県の須賀川バイオマス発電所を視察しました。同発電所は、既に、本町に導入予定の設備での小規模木質バイオマスガス化発電を行っておられます。

木質バイオマス事業をビジネスとして成立させるためには、地域との連携が不可欠です。「安定的な燃料調達」に向け、進出予定企業には、地域社会と町の林産業関係者との信頼関係を築いてほしいと考えます。



須賀川バイオマス発電所発電設備

4/25 アカデミー学生の現場見学



林業に対する理解を深めることを目的とする「林業入門」の講義の一環として、町立林業アカデミーの令和7年度入学生8人に、造林班による阿毘縁地内の雪起こしの作業現場を見学してもらいました。

現場見学に先立って行った「林業講話」では、メモをとりながら、職員の説明に熱心に耳を傾けてくれる生徒の姿もありました。今年は、当組合の奨学資金制度の利用を検討中の学生もおられるようで、町の林業の実情を十分に理解し、一人でも多く、町内の林業事業体に就職してもらえたらと思っています。



阿毘縁地内の雪起こし作業現場

4/25 町産材の魅力発信



この日、道の駅「ほうじょう」がグランドオープンしました。1993(平成5)年に、道の駅「北条公園」として登録、老朽化していた同施設を再整備し、名称も新たにこの日の開業となりました。

ここでは、当組合が管理するFSC®森林認証林から出材した杉(180m³)を原材料に、オロチが加工した構造用LVL48m³が使用されています。

道の駅「ほうじょう」は、山陰自動車道の北条道路(13.5km)沿いにあります。町産材の魅力を伝えることができる施設が、またひとつ誕生しました。



LVL材が映える物販コーナー

5/9 日野高デュアルシステム



日野高版デュアルシステムとは、生徒の主体的な職業選択の能力と職業意識を育むことを目的に、学校での座学と事業所での実習を組み合わせた日野高の教育システムです。

この日は、アグリライフ系列「森林応用」を選択している3年生の4名に、林業講話、樹木育苗センターと木材団地の視察研修という実習を通じ、林産業への理解を深めてもらいました。

遠くない進路決定に向かって、林業や林業関連産業がその選択肢のひとつになることを願っています。



櫛オロチの工場見学をする4人の日野高生

5/23 木材団地周辺の道路清掃



日南町木材生産事業協同組合と木材団地事業所社員、そして、林業アカデミーの学生らにも参加してもらい、団地周辺の道路清掃作業を行いました。

総勢53名の参加者は、霞方面と下石見方面に分かれ、空き缶、ペットボトル、弁当がらなど、町の有料指定袋に換算すると約4袋相当の散乱ごみを回収しました。

昨年の回収量より減ってはいますが、ごみのポイ捨てはなくなりません。ごみのポイ捨てをなくし、快適に過ごせる住みやすい町にするため、皆様のご協力をお願いします。



ごみのポイ捨ては法律違反です

大林組が町内の山林でPV撮影



4月13日に開幕した大阪・関西万博。㈱大林組は、世界最大の木造建築物「大屋根リング」の施工に加え、会場全体の統括施工者として、万博工事をリードされました。大阪で操業された同社にとって、地元開催となる今回の万博にける思いは並々なるものであったと聞いています。

そんな日本を代表する大手ゼネコンの大林組が、昨年8月、町内の樹木育苗センター内に、外的環境の影響を受けやすい幼苗期を人工光で、それ以降を自然光で育成するという「ハイブリッド型苗木生産プラント」を設置され、現在、カラマツの苗木生産と町内山林への植樹という実証実験に取り組んでおられます。

このたび、大林組の各種展示会での使用を視野とするPV（プロモーションビデオ）制作のための撮影が町内で行われ、社員のみなさんによるカラマツの植林と出荷苗木検査の様子、200年の森、森林組合の皆伐施業現場などが収録されました。脱炭素社会の実現に向け、世界へ情報発信をされる大林組の取り組みに、わたしたちも一役買いました。



皆伐施業現場の撮影の様子

時評

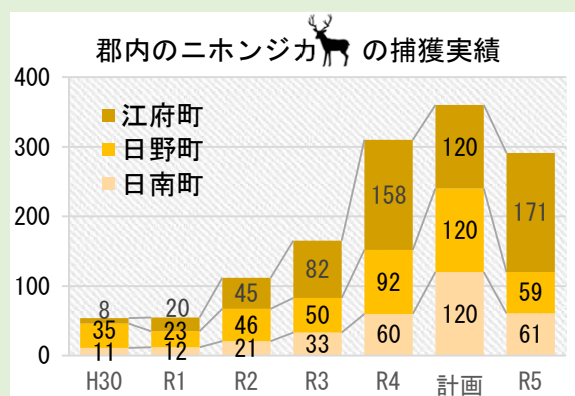
皆伐再造林の推進と鳥獣被害対策



1. 日野郡鳥獣被害防止計画

令和5年度に策定された「日野郡鳥獣被害防止計画」では、郡内のニホンジカの生息数は増加傾向にあるものの、比較的低密度の状況にあるため、防護対策が最優先課題と提言されました。

一方で、同計画には、捕獲も進めないことには、生息数の増加も生息密度の上昇も抑制できないため、捕獲にも注力していく必要があると記されており、膨大な労力を消耗しないよう、ニホンジカの目撃の多い地点や皆伐再造林地などから優先的に集中捕獲を実施し、郡内の捕獲計画数を360頭（120頭×3町）とする旨も明示されています。



2. 皆伐再造林の推進に向けて

郡内のニホンジカの捕獲実績は、上図のとおりで、江府町を除き、計画どおりに進んでいません。その理由としては、銃の所持者が減少していること、狩猟免許所有者の多くが高齢で、罾の設置、見回り、捕獲個体の搬出など負担の大きいニホンジカの奥山捕獲者の確保が困難なこと、また、日野郡内のニホンジカの生息密度が他地域ほど高くはないため、その捕獲にまで狩猟免許所有者の目が向いていないことも計画未達の要因であると考えます。



ニホンジカによる食害

ただ、ニホンジカの繁殖力は高く、捕獲しないと年率20%で増加し、4～5年で個体数は倍増すると言われています。また、町内では、ノウサギによる苗木の主軸や側枝を切断する「枝かじり」や樹皮を摂食する「剥皮」といった被害も少なくありません。

皆伐再造林による森林整備に支障をきたす前に、専門の捕獲者の確保など、林内における鳥獣被害対策に向けた体制整備も切迫した課題となっています。



炭坂屋 (神戸上)
あおき るい
青木 瑠依さん

Q 1. 林業の仕事歴は？
1 年目です。

Q 2. この仕事に入ったきっかけは？
結婚して日南町に来たのがきっかけです。

Q 3. 仕事の内容は？
造材、搬出、道直し、伐倒

Q 4. 難しいと思うところは？
木を伐倒するときに思ったところにきれいに倒すのが難しい所です。

Q 5. 林業の仕事についてよかったと思うところは？
自然の中で、毎日仕事できることや、人との関わりをもてるところです。

Q 6. 今後の目標は？
自分でできることは人に頼らず、自分で判断して仕事ができるようになることです。

今月の表紙写真にご登場いただいた青木さんです。
取材へのご協力、ありがとうございました。

理事会・監査会開催報告（協議事項等）

令和 6 年度第 6 回理事会

(令和 7 年 3 月 25 日)

《協議事項》

- ・ 令和 7 年度各種手数料の決定について
- ・ 第 62 回通常総代会開催日について
- ・ 規程の一部改正、制定、廃止について
- ・ 年度末賞与について
- ・ 昇給について
- ・ その他

令和 6 年度決算監査

(令和 7 年 5 月 13 日)

《監査事項》

- ・ 第 62 事業年度の業務及び財産の状況
- ・ 会計帳簿及びこれに関する資料調査
- ・ 重要な決済書類

令和 7 年度第 1 回理事会

(令和 7 年 5 月 20 日)

《協議事項》

- ・ 第 62 回通常総代会について
- ・ 監事監査の指摘事項等に対する回答について
- ・ 利益相反契約について
- ・ 固定資産の取得について
- ・ 日南町森林組合配当金支払要綱の改正について
- ・ その他

令和 7 年度第 2 回理事会

(令和 7 年 6 月 13 日)

《協議事項》

- ・ 役員報酬額の決定並びに役員報酬の支払い方法について
- ・ 日南町森林組合作業班就業規則一部改正について
- ・ 職員夏季賞与支給について
- ・ 株式会社日南町小水力発電公社について
- ・ その他

出資配当金の支払い方法等の変更

このたびの総代会で、出資配当金の支払い方法等について、次のように変更することをご承認いただきました。ご不明な点などございましたら、総務課までお問い合わせください。

- ①支払い期限は、**令和7年12月12日まで**です。
- ②支払い方法は、振込口座を記載した「**出資配当金受領申込書**」を森林組合に提出して頂ければ組合員本人の金融機関口座への振込みをいたします。
- ③6ヶ月以内に、出資配当金受取りの申し出がない場合、当人の**出資金に振替え**させていただきます。なお、1口（500円）に満たない額は、**出資預り金への振替え**ます。

新入職員の紹介



主事 仲村進之介

4月に入組、森林管理課に配属となりました。組合員、林業労働者みなさまに信頼していただけるよう丁寧な業務に心がけます。一日も早く戦力となれるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



技師 上田哲也

3月にグリーンシャインを退社し、4月に森林組合での採用となりました。以前と変わらず、木材団地の貯木場（販売課）で勤務しています。初心に返り、町の林業発展に向かって邁進します。引き続き、よろしくお願いします。



造林班 増子 敦

4月より造林班で勤務しています。趣味の山登りを通じて、自然環境保全への興味が一層深まり、この度、林業へ転職する決意を固めました。先輩方から様々なノウハウを学び、町の林業発展に努めます。よろしくお願いします。

令和6年度原木取扱量

○原木取扱量は、対前年度 8.7%の減量となりました。これは、8月下旬の豪雨と2月の降雪による施業の中断が、大きな要因と考えています。引き続き、日南町木材生産事業協同組合との連携により、木材生産体制の充実と強化を図ります。○選木機の効率的な稼働により木材集積場の体制を充実させ、販売網の拡充を図ります。



組合員数 (令和7年5月末現在)
 正組合員数 1,469名
 准組合員数 6名

発行元
日南町森林組合
 〒689-5211
 鳥取県日野郡日南町生山4 2 3 - 2
 TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321
 E-mail info@n-forest.jp.net
 HP <http://n-forest.jp.net>

ホームページ



Facebook



Instagram

